

26) 注意を示す部分が赤い文字で書いてあるところがあるが、赤文字は見えにくいので、この場合は、黒文字にしたうえで、赤枠で囲むようにする。



けんび鏡の使いかた

- ① いちばん低い倍りつにする。のぞきながら鏡を動かして、明るくする。



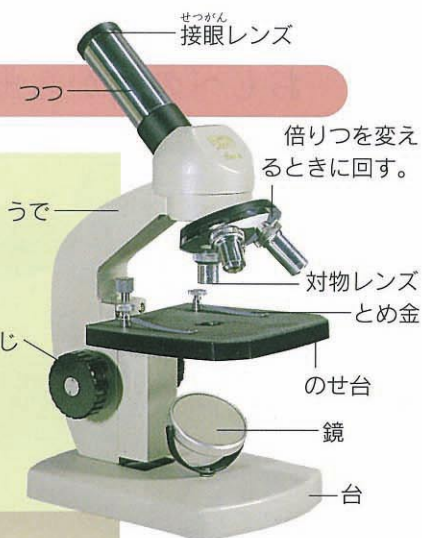
- ② のせ台にプレパラートを置き、とめ金でとめる。



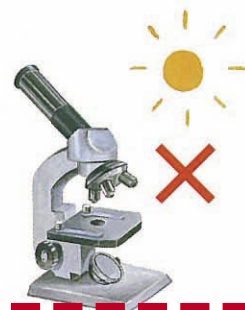
- ③ 真横から見ながらねじを回して、対物レンズとプレパラートを、できるだけ近づける。



- ④ ねじを少しずつ回して、対物レンズとプレパラートとの間を遠ざけ、はっきり見えるところで、とめる。



のせ台が動くけんび鏡

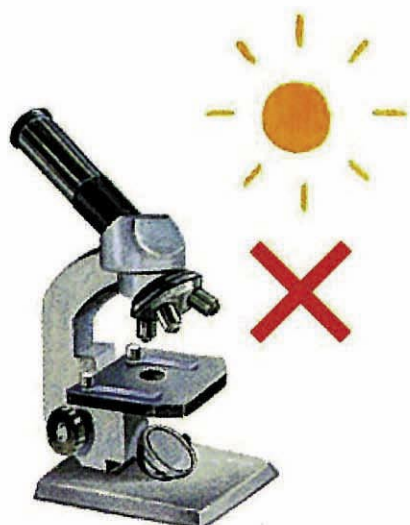


注意 日光が直接当たらない、明るいところで見る。

倍りつ＝接眼レンズの数字×対物レンズの数字



注意 観察が終わったら、ぬれたりよごれたりしたところをふいて、ケースにしまう。



注意 日光が^{ちよくせつ}直接当たらない、明るいところで見ろ。

倍りつ＝接眼レンズの
数字×対物レンズの数字



注意 観察が終わったら、ぬれたりよごれたりしたところをふいて、ケースにしまう。

43-4